

吉川吉彦君 平松年度のスタートを祝って。

角田宏衛君 平松年度の発足を記念して。

村山誠一君 新年度も皆様宣敷くお願い致します。

佐藤啓策君 平松新会長、稲田新幹事、笹原新S A A 1年間宣しく御願致します。

早川滝雄君 平松丸出港を祝って。

加藤実君 新年度、会長、幹事宣しくお願い致します。

高橋彰雄君 新役員の皆様、御苦労様です。

今井克義君 平松、稲田、笹原さん1年間御苦労様です。

河井増雄君 新年度おめでとうございます。会長、幹事さん始め、皆さん本年度もよろしく御願致します。

粉川昭蔵君 新年度を祝って。

樋口金占君 ロータリーを楽しく。平松会長、稲田幹事1年間御苦労様です。新年度第1回例会を祝して。

堀川正幸君 新会長、幹事さんご苦労様でございます。1年間よろしく御願致します。楽しく過ごせることを期待しております。

山崎勲君 今年度1年スマイルボックスで頑張ります。皆様の御協力をお願い致します。

米山奨学：

早川滝雄君

会長所信： 平松利朗君

1. 会員同士の親睦を益々深め、互いにもっとよく知り合おう。ロータリー活動の基本は「知り合いを広げること」「よい人間関係を作ること」であります。単なる「お付合い」でなく「真の知り合い、友人」を作ることが目標です。喜びも悲しみも打ち明けられる—これこそロータリーの功德であろうと思います。 2. 会員全員がクラブ活動に積極的に参加し、ロータリーを楽しもう。週1回の昼休みの息抜きに、一緒に昼食を食べて、「為になる話」「異業種の情報」を聞くのもロータリーならではの楽しみです。しかし、“本当のロータリーの楽しみ”は例会だけでなく、委員会や地区行事に積極的に参加して初めて得られるものです。「観客席」で見ているだけでなく、「舞台」へも上って楽しみましょう。 3. 出席することにロータリーの原点があることをよく自覚し、出席率向上のためみんなでいろいろと工夫しよう。出席委員会の単なる「出席奨励」だけでなく、プログラム委員会や親睦委員会との連携による、早朝や夜例会など時間的メリハリ、また親睦行事のイベントの工夫など、総合的な出席率向上策に意を用いて参ります。 4. 「奉仕の理想」実現のため、みんなで知恵を出し合おう。職業、社会、国際奉仕については、まだまだ会員みんなが理解できてないことが多いと思います。功をあせらず、じっくりと勉強し、北クラブ独自の発想で機が熟したところで、クラブ全体で果敢に挑戦しましょう。

四大奉仕委員長方針発表：

クラブ奉仕委員長 今井克義君

ロータリークラブは、クラブ奉仕委員会、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会と4つの委員会から構成されている。職業、社会、国際の3つの委員会は当然のことながら、外へ向かっての奉仕活動と考えて良いと思う。対してクラブ奉仕委員会は、クラブ内に対する“奉仕活動”である。各々が担当した部門でクラブ運営に対して、奉仕をする。北クラブに入って自分は本当に良かったなあと、皆んなが思えるクラブをつくる為に1人1人が他のメンバーの為に奉仕をする。それがクラブ奉仕委員会の仕事と考える。その為には、まず何といっても“出席をする”“参加する”ということがメンバーとして自分の属したクラブ（集団）に対して奉仕をする一番の基礎に成るものと思う。忙しい時間をさいて例会に出席する、委員会に参加するということが他のメンバーに対する奉仕活動と解釈しても良いのではないだろうか。皆んなで今年1年間、頑張っていて、できる限り、北クラブの行事に参加しましょう!!

職業奉仕委員会 吉川吉彦君

平松会長方針に基づき今年度の職業奉仕委員会としてその役割の一端をお手伝いさせていただきたいと思っております。第1番目にあげておられます会員同士の親睦を深めて、互いにもっとよく知り合おうとありますが、職業奉仕委員としての目的にそったものとしてこれを推進していきたいと思えます。第2のクラブの活動に積極的に参加してロータリーを楽しもう、第3の出席率、第4に奉仕の理想実現のため、みんなで知恵を出し合おうとなっております。これらのテーマの中で委員会の活動方針の内容は次の4点を上げております。基本的考え方として我々は互いに職業を通して奉仕する姿とはどうあるべきかを考えこの1年勉強してみたいと思えます。第1に職場訪問ないし職場見学 第2に職業奉仕に関する情報 第3に四つのテストの再認識 第4に職業奉仕月間等での会員相互のスピーチ。以上の4点を目標に今年度頑張る所存です。北ロータリークラブ会員全員の方々の御協力を切にお願い申し上げます。

社会奉仕委員会 木宮 隆君

地域のボランティア活動への参加協力。(1)すでに参加協力しているボランティア活動への対応。ロータリーの体質に合ったメンバーの負担とならない協力体制とは何か。(2)今後協力可能なボランティア活動の検討。高齢者問題委員会。老人の社会参加の実態と意識調査。(1)シルバー人材センターの調査。(2)老人クラブとの懇談会。青少年奉仕委員会。若い世代にロータリーの奉仕の精神を伝える。(1)ローターアクトクラブとの交流。(2)ローターアクトクラブ提唱の可能性を考える。

国際奉仕委員会 斎藤 正君

地域在住外国人の卓話。懇親の機会を設けてゆく。ロータリー財団、米山奨学に就いては、一層の理解を求め、協力を仰いでゆく。